



資料編

策定経過

平成21年

- 7月13日
第1回総合振興計画策定会議
- 8月13日
（株）ぎょうせいとコンサルタント契約
（平成21年度分）
- 9月17日
第1回総合振興計画策定会議幹事会
- 9月28日
第2回総合振興計画策定会議
- 11月16日
総合振興計画策定会議幹事会総務文教
部会・産業建設部会・市民厚生部会
- 12月
まちづくりアンケートの実施
20歳以上の市民2,000名を無作為抽出してアン
ケートを実施。980名（49%）の回答を得た。

- 10月8日
第3回総合振興計画策定会議幹事会
- 10月15日
第5回まちづくり委員会
- 10月26日
第4回総合振興計画策定会議幹事会
- 10月27日
第6回まちづくり委員会
- 11月19日
第5回総合振興計画策定会議幹事会
- 11月24日
第3回総合振興計画策定会議
- 11月30日
第1回総合企画審議会
委嘱状の交付・第6次尾花沢市総合振興計画の
諮問・基礎調査の結果報告・基本構想の協議
- 12月13日
第6回総合振興計画策定会議幹事会
- 12月17日
第4回総合振興計画策定会議
- 12月21日
第2回総合企画審議会
基本構想及び基本計画について協議

平成22年

- 4月23日
（株）ぎょうせいとコンサルタント契約
（平成22年度分）
- 4月26日
第1回まちづくり委員会
- 5月
青少年アンケートの実施
市内の中学3年生及び高校3年生等を対象に
アンケートを実施。
- 5月24日
第2回まちづくり委員会
- 6月15日
まちづくり委員会第1回ふれあい部会
- 6月17日
第2回総合振興計画策定会議幹事会
- 6月29日
まちづくり委員会第2回ふれあい部会
- 7月13日
まちづくり委員会第3回ふれあい部会
- 8月19日
第3回まちづくり委員会
- 9月24日
第4回まちづくり委員会

平成23年

- 1月12日
第3回総合企画審議会
基本構想及び基本計画について協議
本市の将来像について協議
- 1月18日
第5回総合振興計画策定会議
- 1月24日
市議会全員協議会に基本構想（素案）・
基本計画（素案）の中間報告。
- 2月14日
第4回総合企画審議会
基本構想及び基本計画について確認
第6次尾花沢市総合振興計画の答申
- 2月24日
市議会全員協議会に基本構想（案）を説明
- 3月17日
市議会3月定例会にて可決

※この間、まちづくり座談会を58地区において実施し、民意の集約に努めた。

まちづくりアンケート調査結果

1 調査の概要

調査方法等	調査対象	調査方法	調査時期
	20歳以上の市民 （無作為抽出）	郵送法	平成21年12月

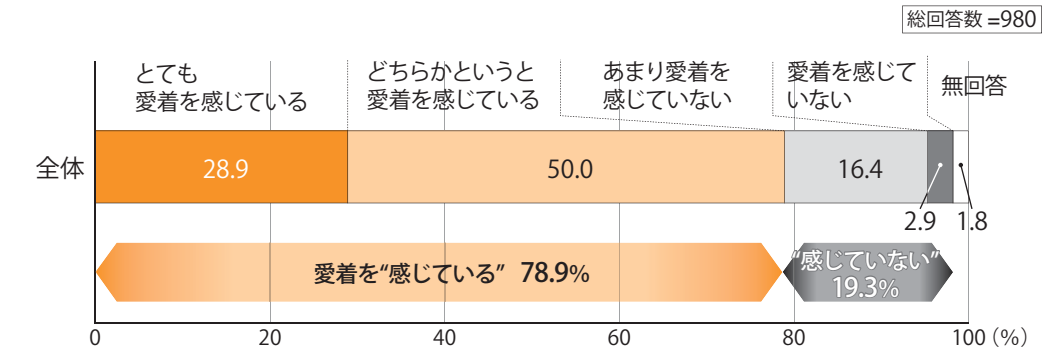
回収結果	配布数	有効回収数	有効回収率
	2,000	980	49.0%

回答者の属性	性別		年齢			
	男性	女性	20代	30代	40代	50代
	38.8%	59.2%	9.1%	13.2%	13.9%	22.3%
			60代	70歳以上		
			18.3%	22.7%		

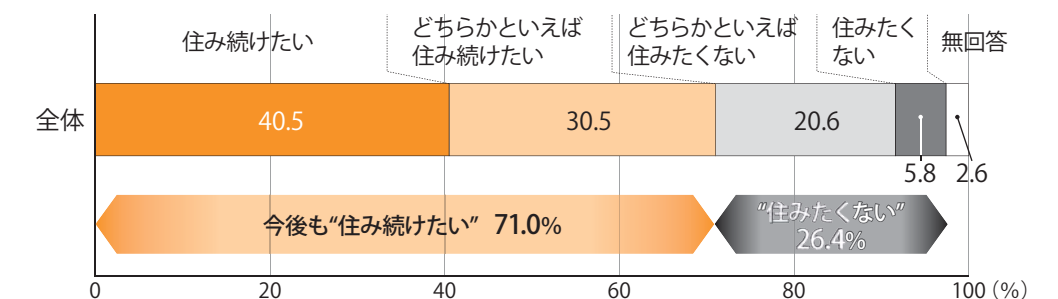
- 留意点
- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
 - 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出しています。
 - 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
 - グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。

2 まちへの愛着度と定住意向などについておたずねします。

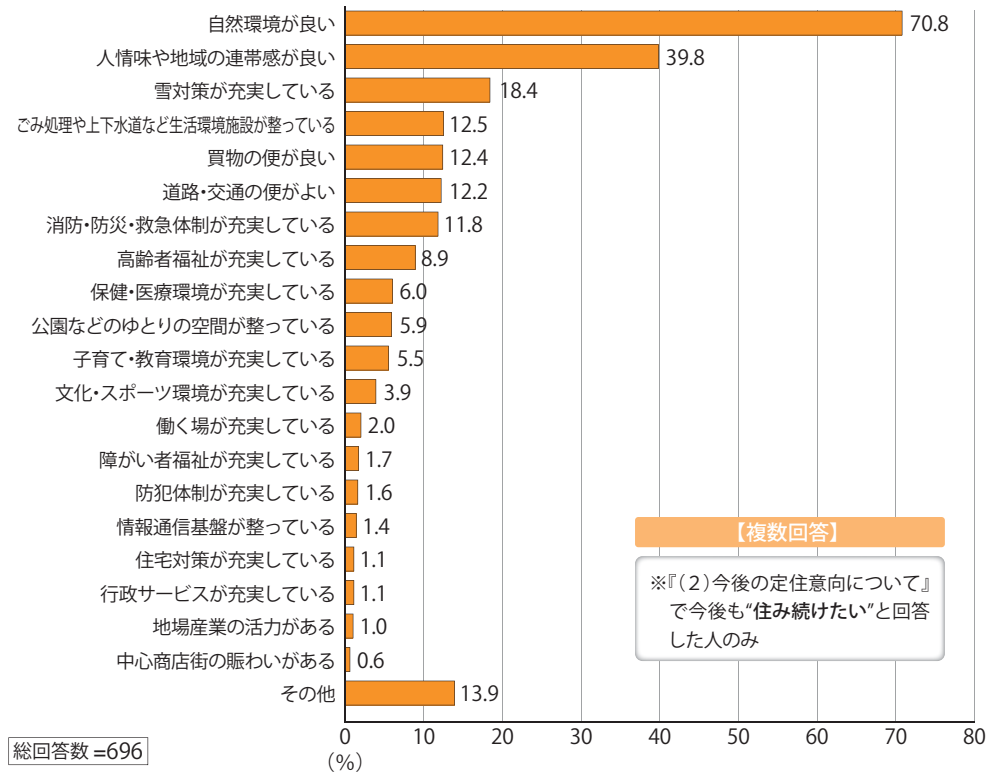
1) まちへの愛着度について



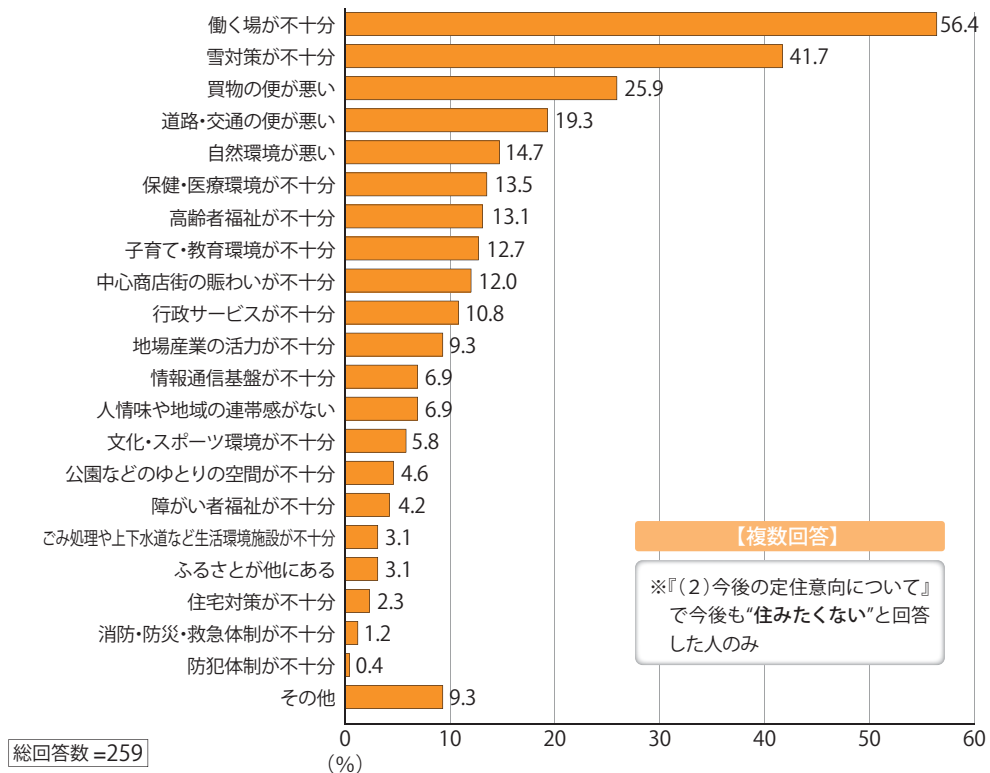
2) 今後の定住意向について



3) 住み続けたい主な理由



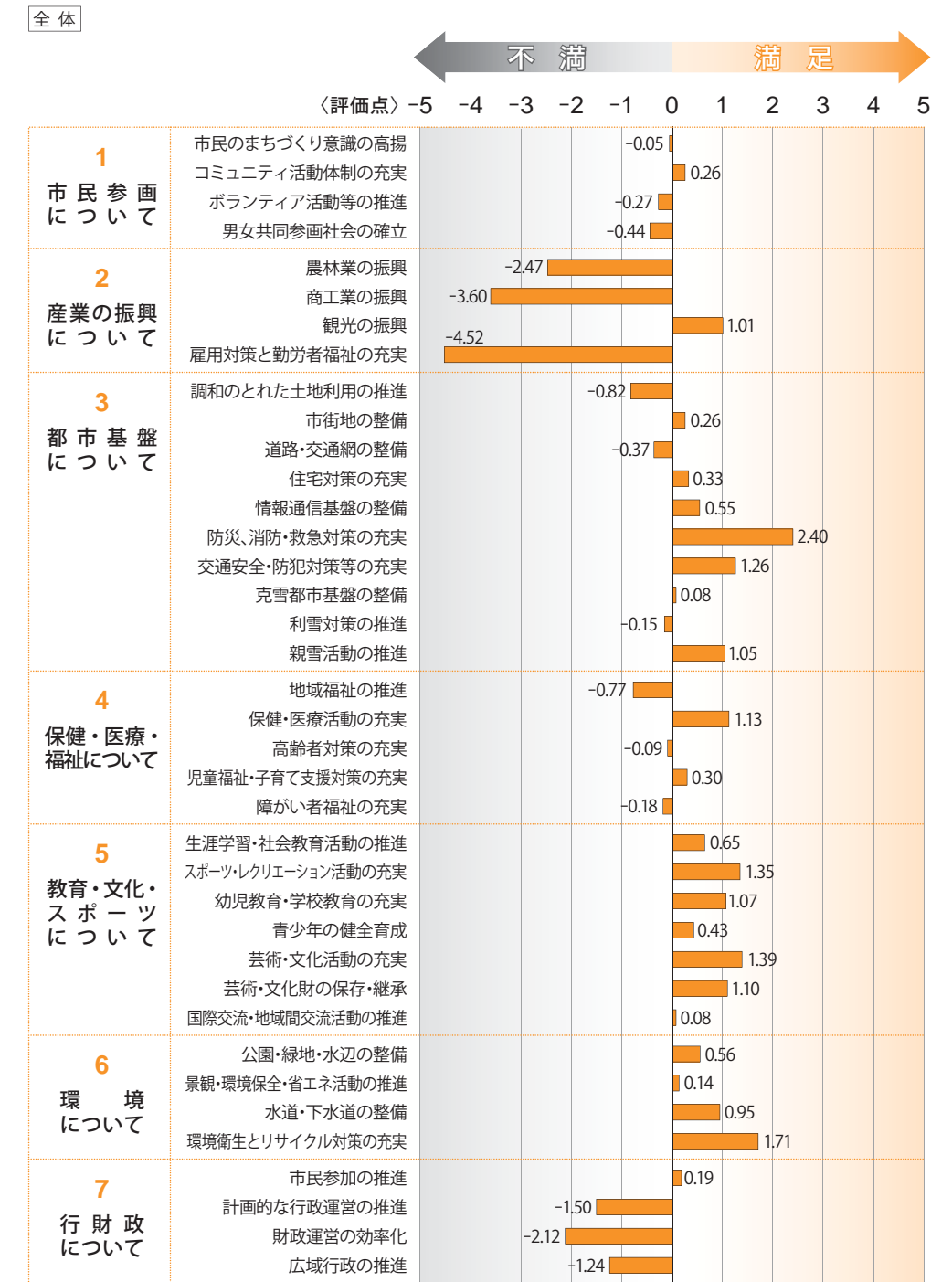
4) 住みたくない主な理由



3 まちの現状と今後の取り組みについておたずねします。

1) まちの各環境 (市の施策) に関する満足度

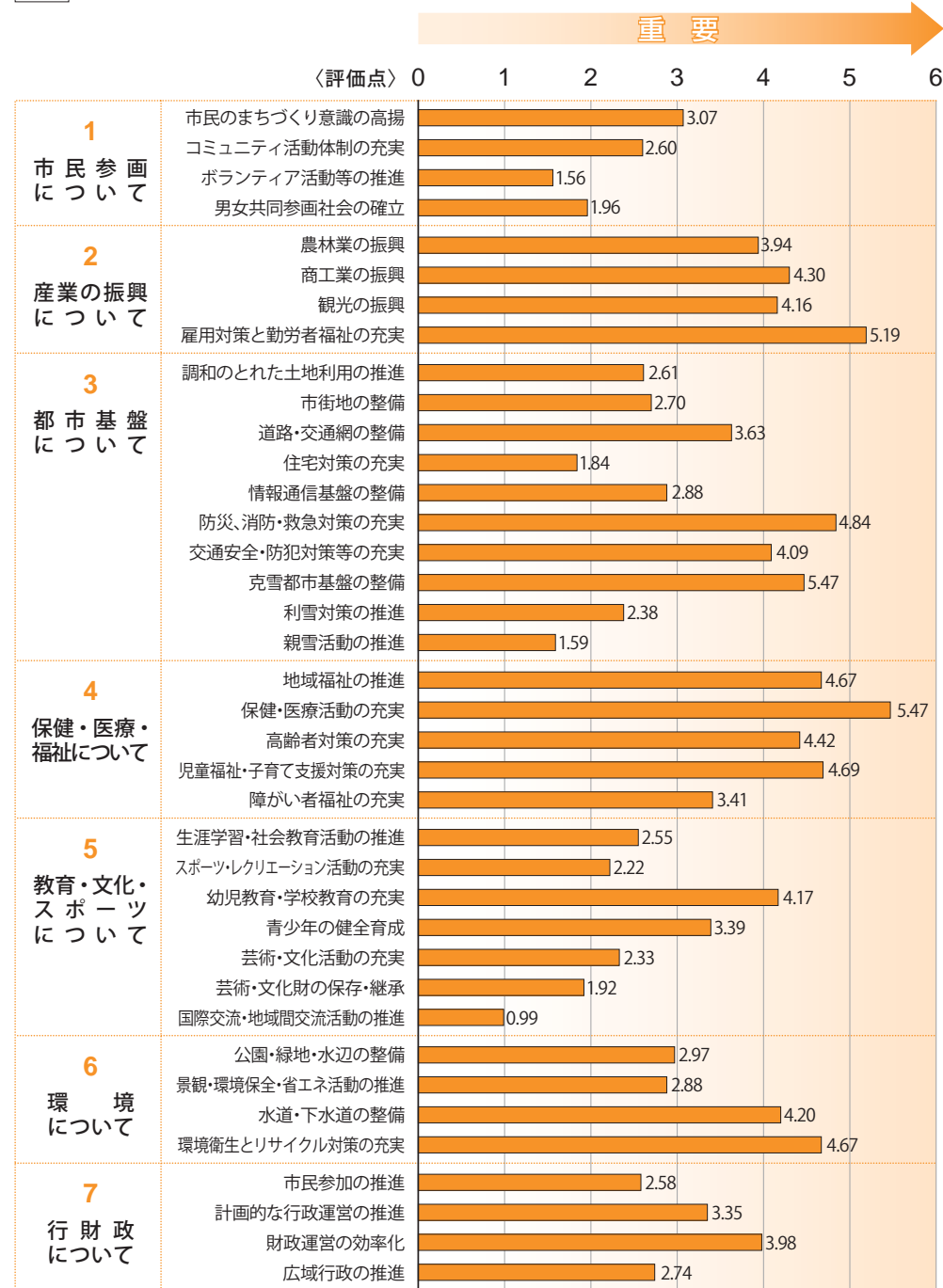
- 評価の最も高い項目は「防災・消防・救急対策の充実」。次いで「環境衛生とリサイクル対策の充実」、「芸術・文化活動の充実」の順。
- 評価の最も低い項目は「雇用対策と勤労者福祉の充実」。次いで「商工業の振興」、「農林業の振興」の順。



2) まちの各環境（市の施策）に関する重要度

●重要度の最も高い項目は「保健・医療活動の充実」及び「克雪都市基盤の整備」。次いで「雇用対策と勤労者福祉の充実」、「防災、消防・救急対策の充実」、「児童福祉・子育て支援対策の充実」の順。

全体



評価点(加重平均値)の算出方法

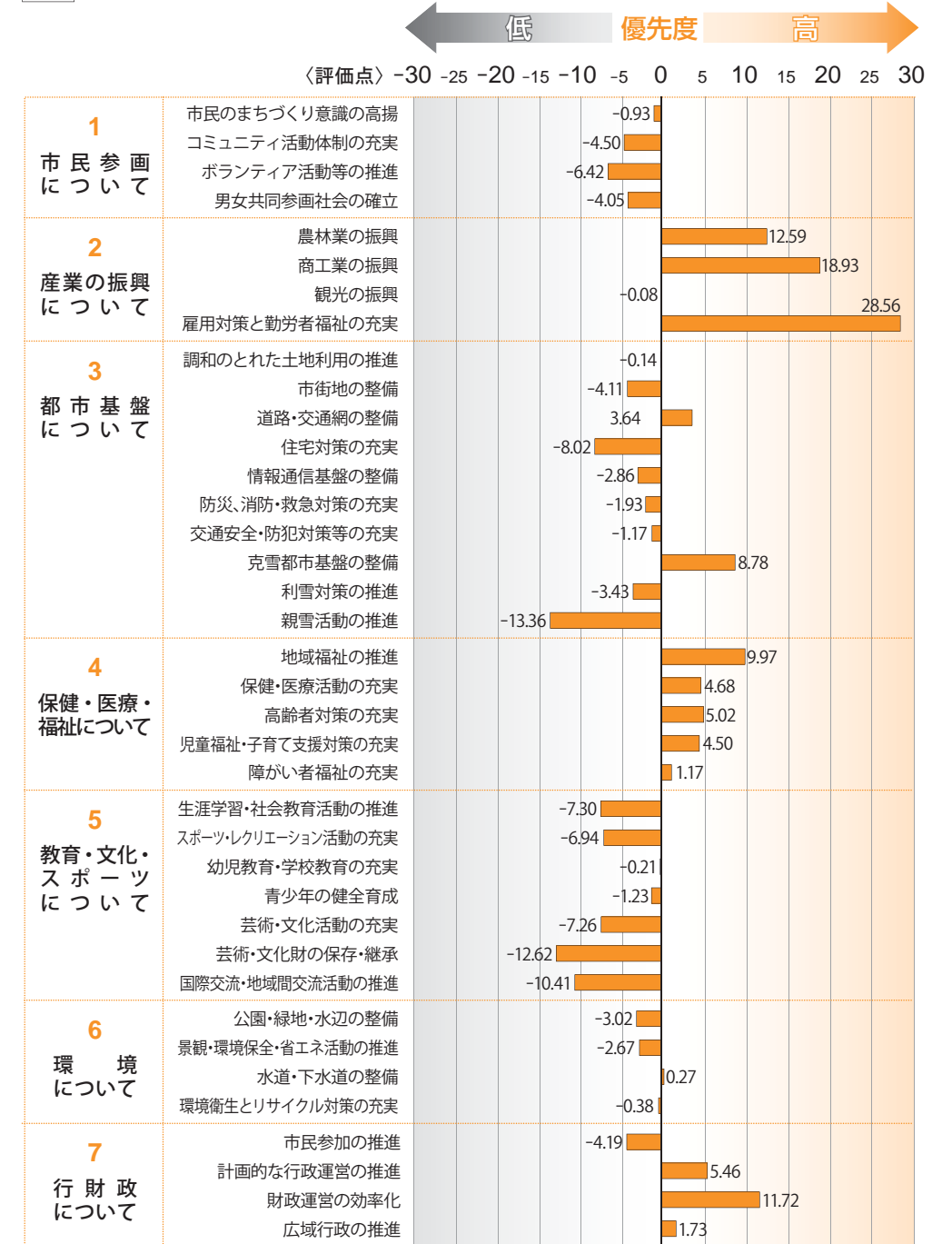
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する(満足度・重要度とも同様、下記は満足度の算出方法)。

$$\text{評価点} = \frac{\left(\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{点} + \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right)}{\left(\begin{array}{l} \text{「満足している」, 「どちらかといえば満足している」, 「どちらともいえない」, 「どちらかといえば不満である」, 「不満である」の回答者数} \end{array} \right)}$$

3) 満足度と重要度の相関（優先度）

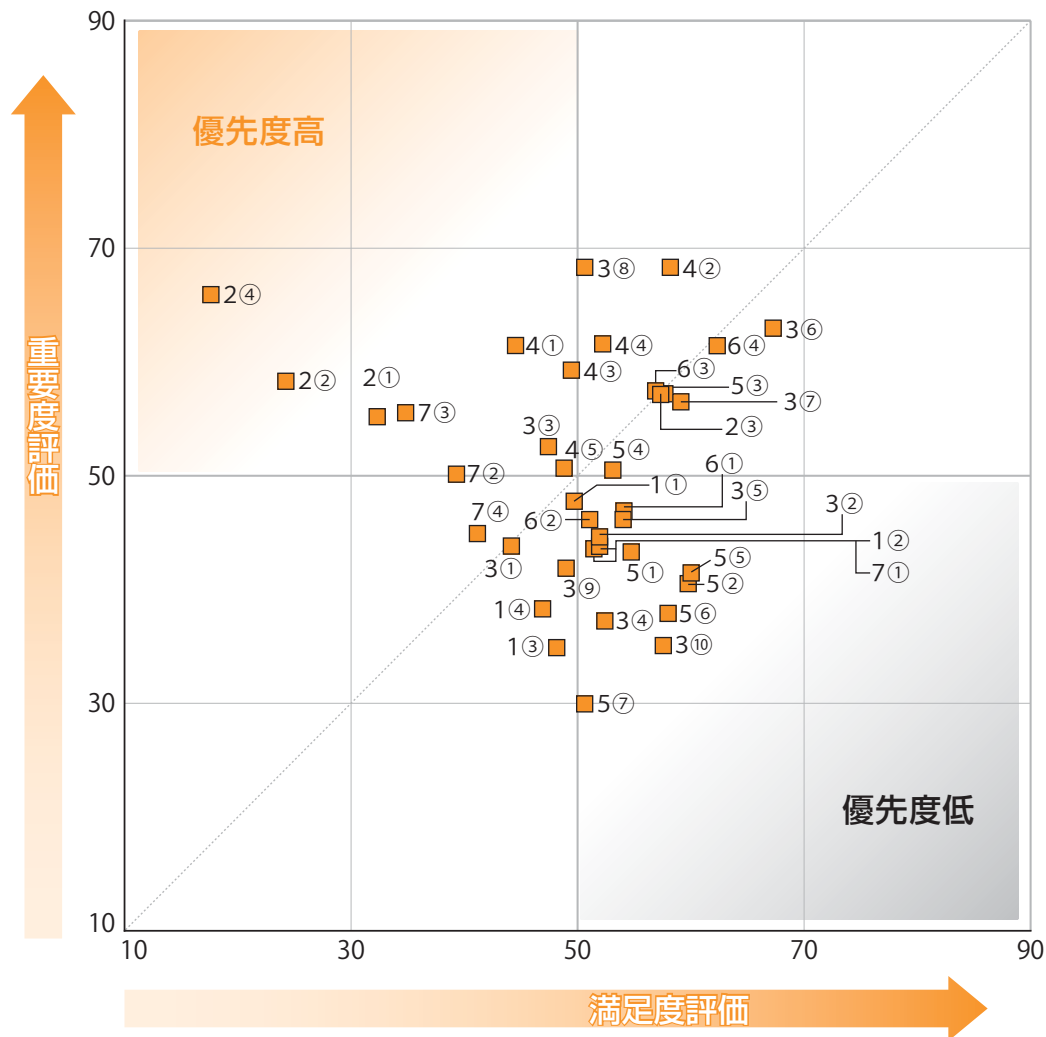
●優先度の最も高い項目は「雇用対策と勤労者福祉の充実」。次いで「商工業の振興」、「農林業の振興」、「財政運営の効率化」、「地域福祉の推進」の順。

全体



優先度

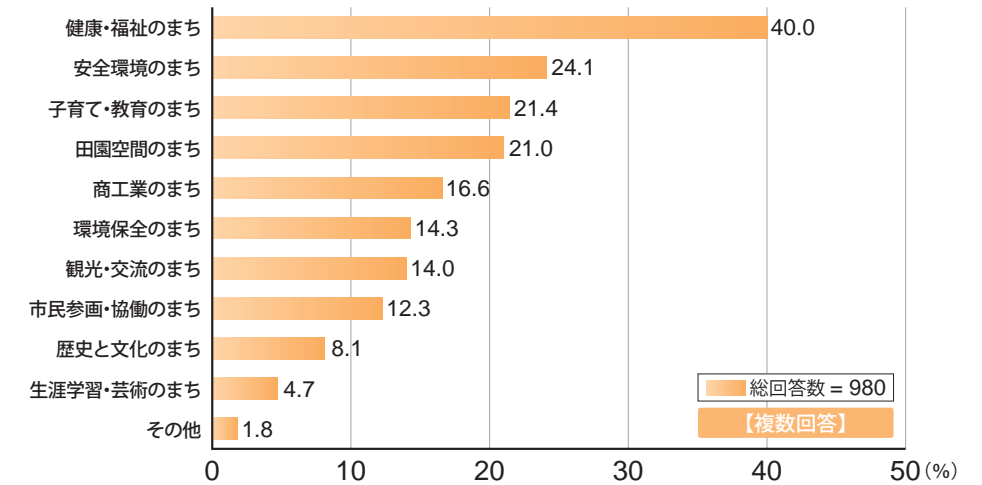
次頁のグラフにおいて左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。上記グラフはプロットされた項目の相関から得点化したもの。



凡 例		
1① 市民のまちづくり意識の高揚	3⑥ 防災、消防・救急対策の充実	5④ 青少年の健全育成
1② コミュニティ活動体制の充実	3⑦ 交通安全・防犯対策等の充実	5⑤ 芸術・文化活動の充実
1③ ボランティア活動等の推進	3⑧ 克雪都市基盤の整備	5⑥ 芸術・文化財の保存・継承
1④ 男女共同参画社会の確立	3⑨ 利雪対策の推進	5⑦ 国際交流・地域間交流活動の推進
2① 農林業の振興	3⑩ 親雪活動の推進	6① 公園・緑地・水辺の整備
2② 商工業の振興	4① 地域福祉の推進	6② 景観・環境保全・省エネ活動の推進
2③ 観光の振興	4② 保健・医療活動の充実	6③ 水道・下水道の整備
2④ 雇用対策と勤労者福祉の充実	4③ 高齢者対策の充実	6④ 環境衛生とリサイクル対策の充実
3① 調和のとれた土地利用の推進	4④ 児童福祉・子育て支援対策の充実	7① 市民参加の推進
3② 市街地の整備	4⑤ 障がい者福祉の充実	7② 計画的な行政運営の推進
3③ 道路・交通網の整備	5① 生涯学習・社会教育活動の推進	7③ 財政運営の効率化
3④ 住宅対策の充実	5② スポーツ・レクリエーション活動の充実	7④ 広域行政の推進
3⑤ 情報通信基盤の整備	5③ 幼児教育・学校教育の充実	

4 今後どのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。

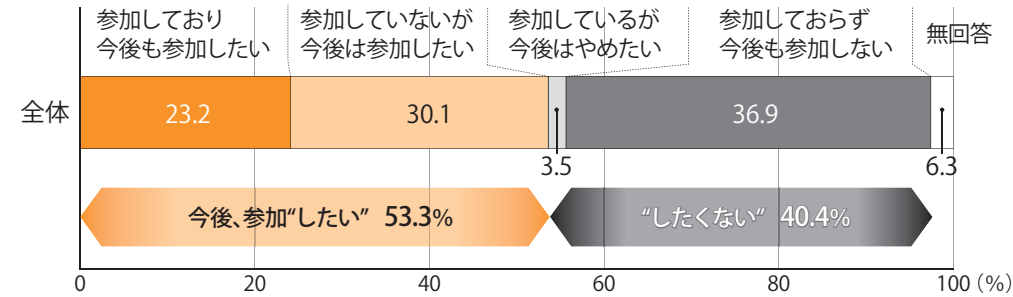
● 「健康・福祉のまち」が他を大きく引き離して第1位。次いで、「安全環境のまち」、「子育て・教育のまち」、「田園空間のまち」の順。



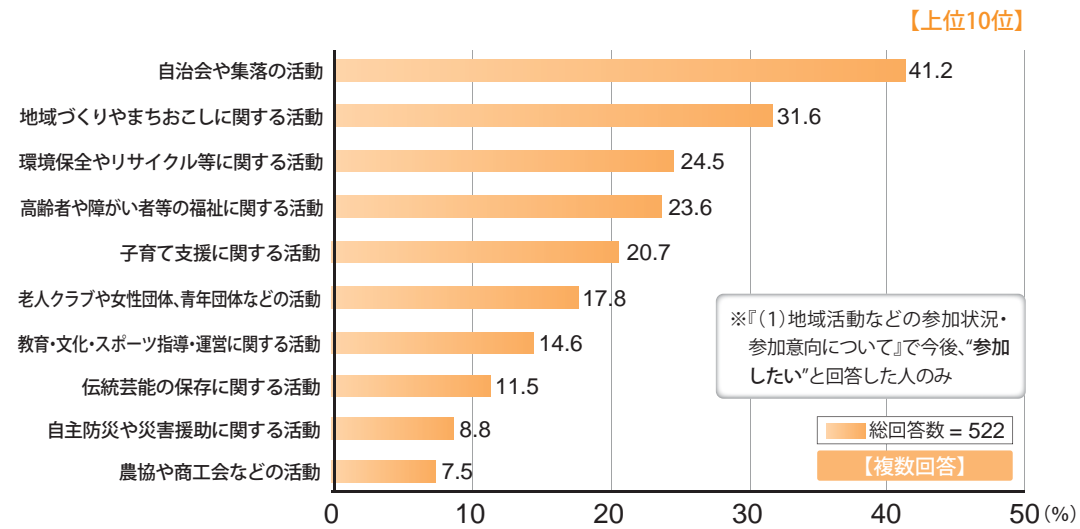
		第1位	第2位	第3位
全 体		健康・福祉のまち 40.0%	安全環境のまち 24.1%	子育て・教育のまち 21.4%
年 齢	20代	子育て・教育のまち 33.7%	観光・交流のまち 27.0%	健康・福祉のまち 22.5%
	30代	子育て・教育のまち 45.7%	健康・福祉のまち 32.6%	安全環境のまち 23.3%
	40代	健康・福祉のまち 38.2%	商工業のまち 25.0%	田園空間のまち 23.5%
	50代	健康・福祉のまち 40.2%	安全環境のまち 25.6%	商工業のまち 22.4%
	60代	健康・福祉のまち 47.5%	田園空間のまち 25.7%	安全環境のまち 24.6%
	70歳以上	健康・福祉のまち 47.3%	安全環境のまち 30.2%	田園空間のまち 24.8%
居 住 地 区	尾花沢地区	健康・福祉のまち 38.0%	子育て・教育のまち 25.3%	安全環境のまち 23.6%
	福原地区	健康・福祉のまち 41.9%	安全環境のまち 25.1%	田園空間のまち 24.6%
	宮沢地区	健康・福祉のまち 35.1%	安全環境のまち 28.4%	田園空間のまち 27.0%
	玉野地区	健康・福祉のまち 45.1%	田園空間のまち 26.5%	安全環境のまち 25.5%
	常盤地区	健康・福祉のまち 44.4%	田園空間のまち 24.6%	安全環境のまち 21.4%

5 地域活動やボランティア活動への参画についておたずねします。

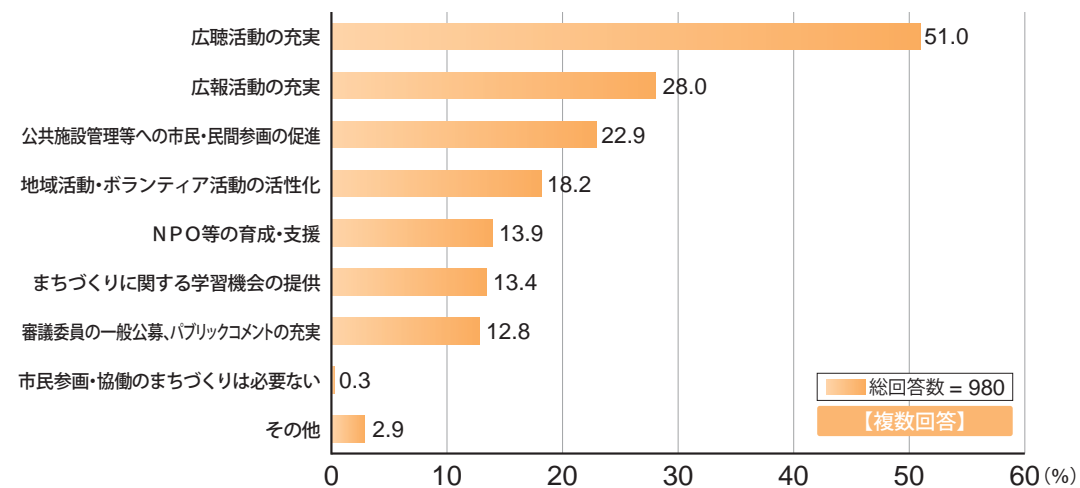
1) 地域活動・ボランティア活動などの参加状況・参加意向について



2) 参加したい地域活動・ボランティア活動について

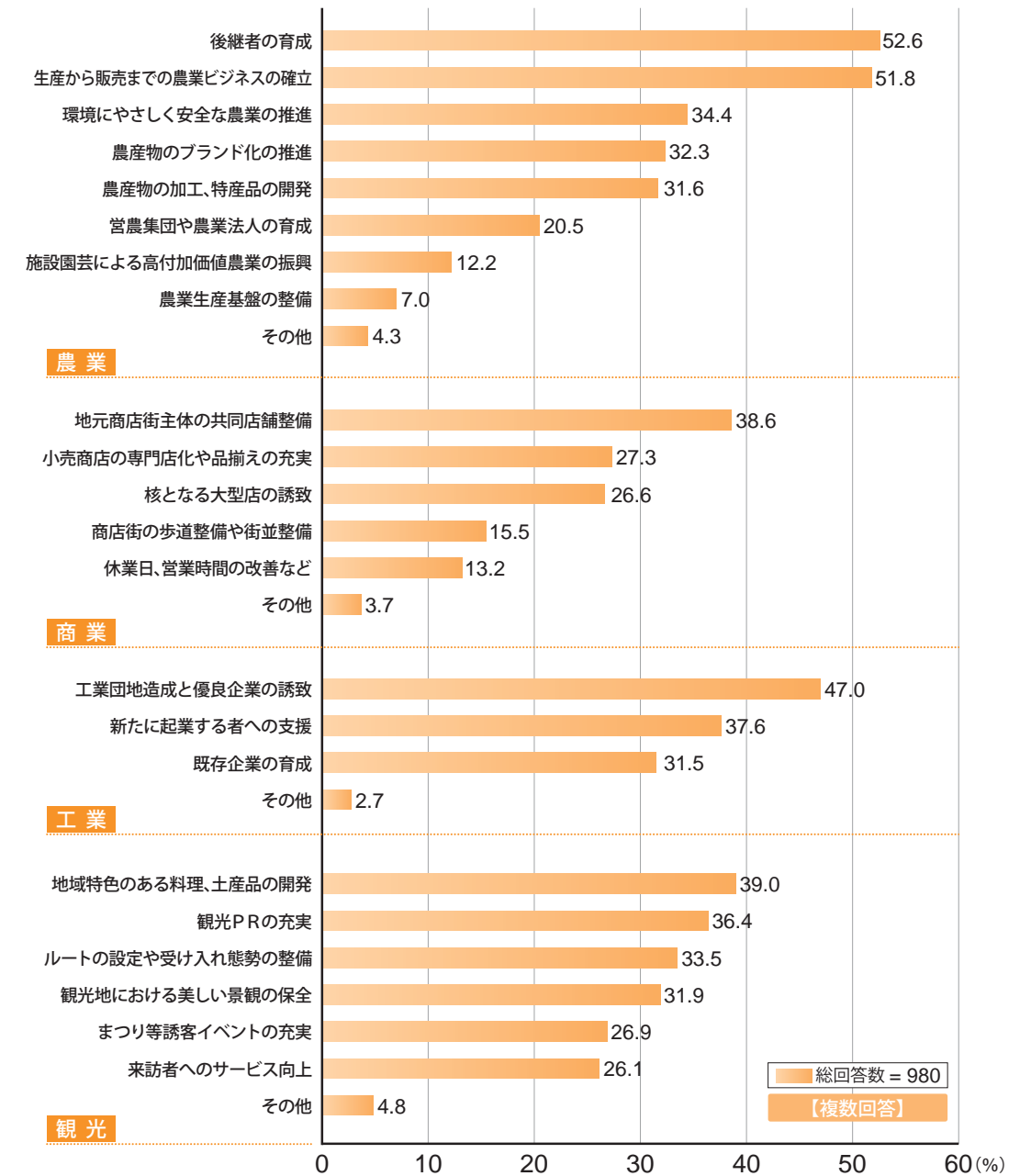


3) 市民参画・協働のまちづくりの推進のために必要なことについて

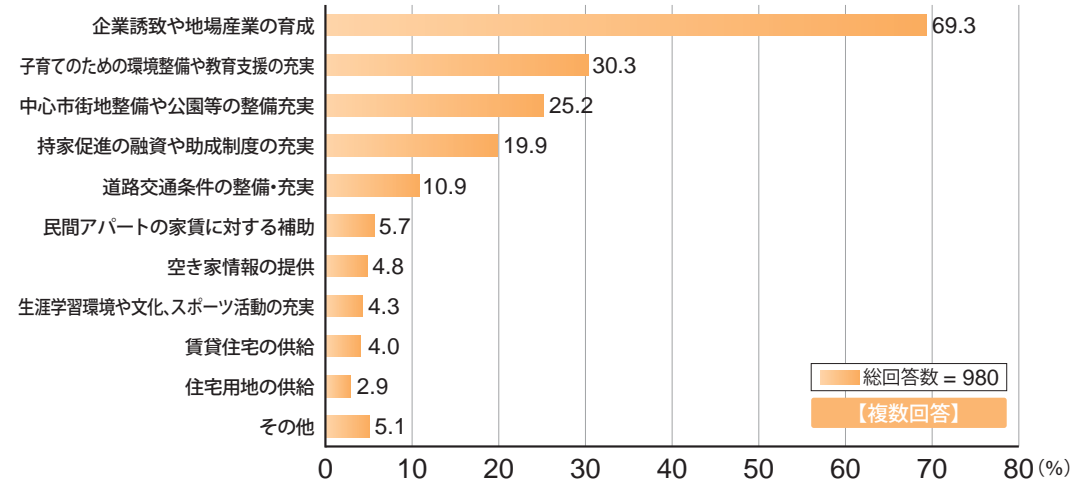


6 産業の振興について、どのような取り組みが必要だと思いますか。

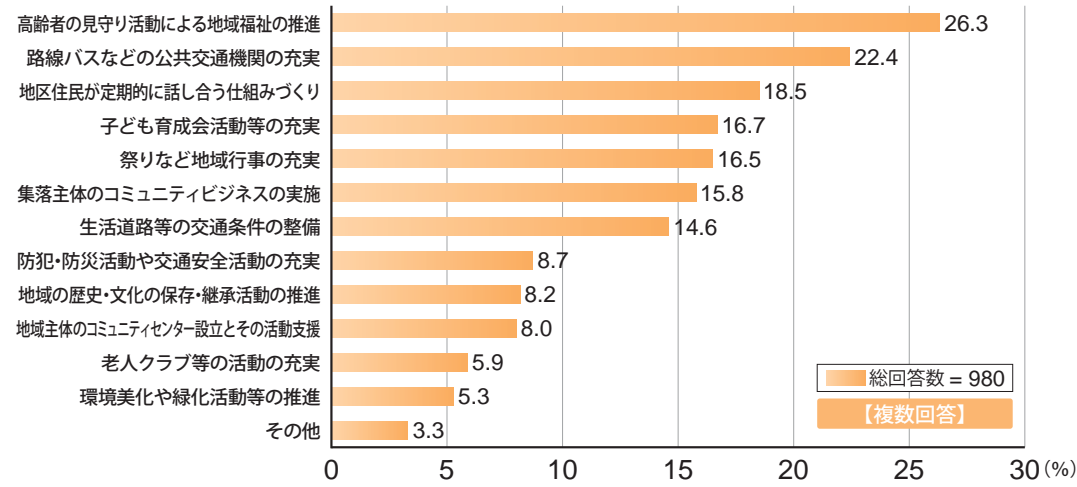
- 全体では、「農業：後継者の育成」が第1位。
- 産業別での第1位は以下のとおり。
 農業：「後継者の育成」
 商業：「地元商店街主体の共同店舗整備」
 工業：「工業団地造成と優良企業の誘致」
 観光：「地域特色のある料理、土産品の開発」



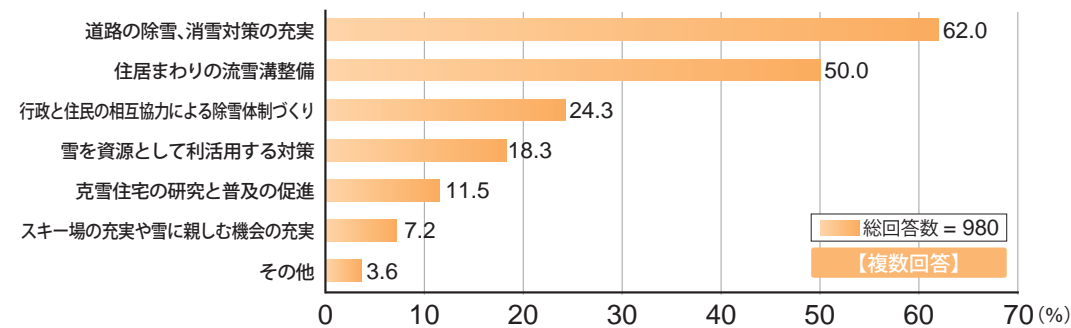
7 定住対策について、どのような取り組みが必要だと思いますか。



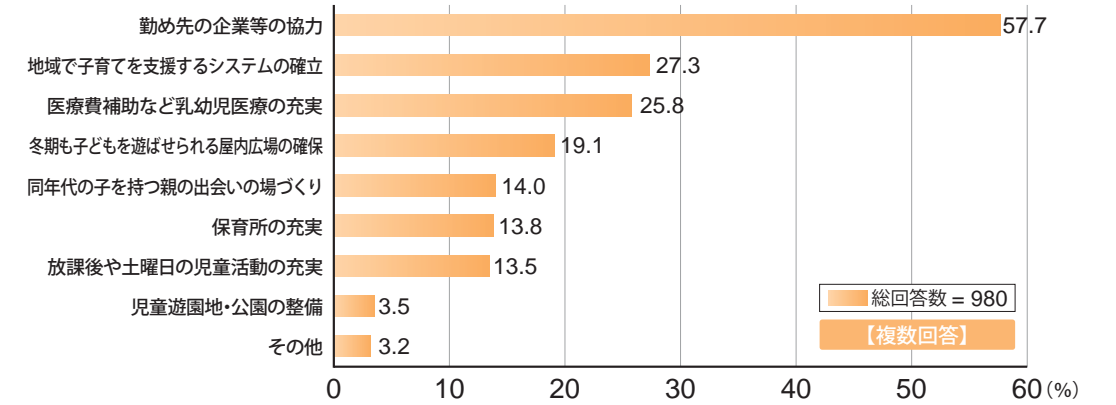
8 集落の振興について、どのような取り組みが必要だと思いますか。



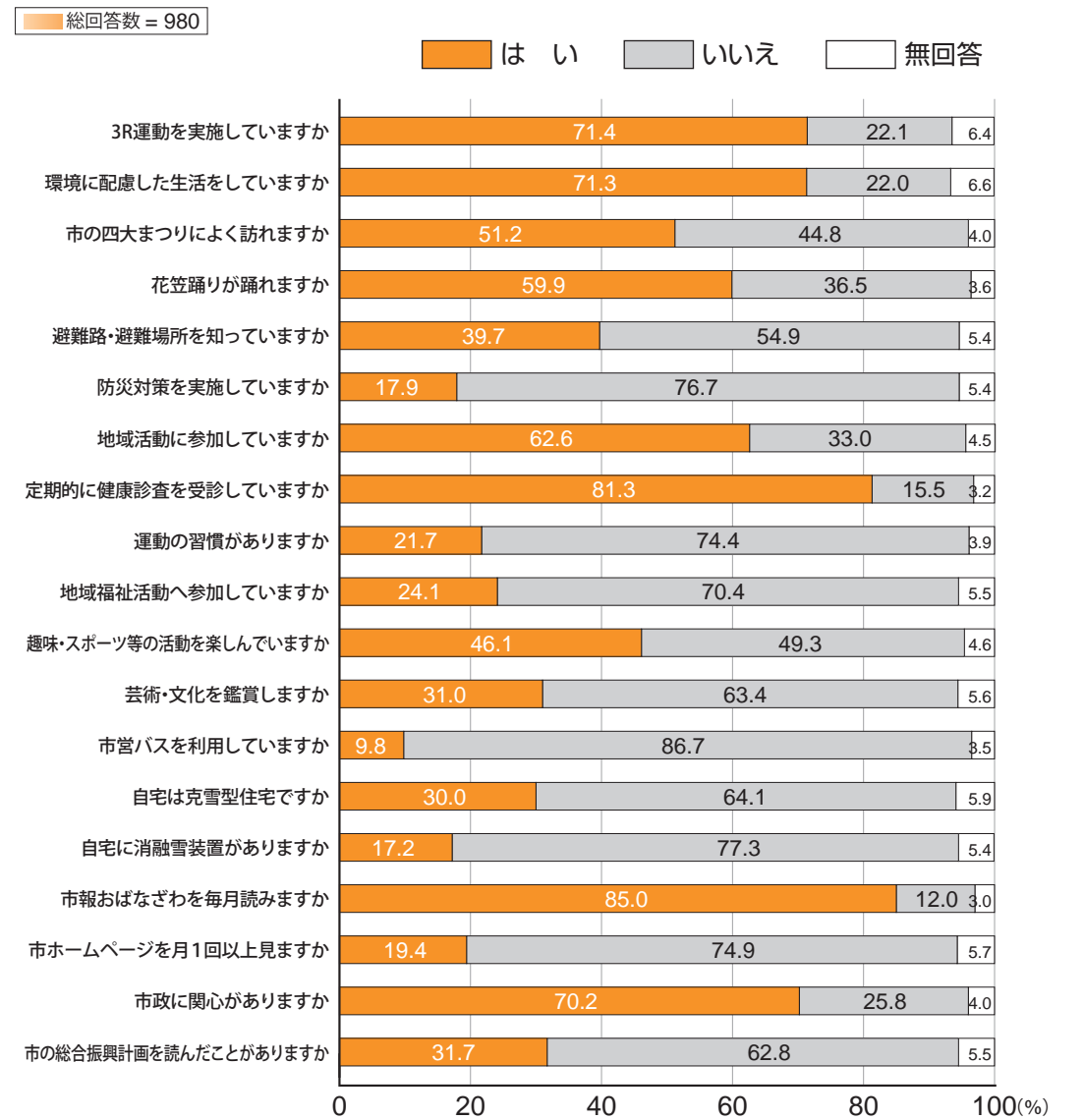
9 雪対策について、どのような取り組みが必要だと思いますか。



10 少子化対策について、どのような取り組みが必要だと思いますか。



11 あなたの日頃の行動についておたずねします。



尾花沢市総合企画審議会委員名簿

尾花沢市総合企画審議会は、尾花沢市総合企画審議会条例に基づき、市長の諮問に応じ、本市のまちづくりに関することについて調査審議することを目的として設置されるものです。

第1号委員（市議会議員）

尾花沢市議会議長	鈴木 忠
// 副議長	鈴木敏正
// 総務文教常任委員長	伊藤精一
// 市民厚生常任委員長	笹原光政
// 産業建設常任委員長	加藤克彦

第2号委員（学識経験者）

山形県議会議員	加賀正和	県議会
国土交通省尾花沢国道維持出張所長	鈴木 浩	道路行政
山形県村山総合支庁地域振興課長	高橋 亘	行政
尾花沢警察署長	原田伸也	治安・交通
尾花沢小中学校校長	福永 隆	教育
合同会社 QMM 地域開発研究所 代表	落合春信	地域活性化 コンサルティング

第3号委員（関係行政機関及び団体の役職員）

尾花沢市連合区長会会長	佐藤敏也	住民団体
尾花沢市まちづくり委員会会長	五十嵐幸一	地域づくり
尾花沢市まちづくり委員会副会長	鈴木治久	//
尾花沢市認定農業者連絡会議会長	齋藤吉勝	農業
みちのく村山農業協同組合青年部尾花沢支部長	近藤 剛	//
尾花沢市商店街協同組合理事長	高橋 孝	商業
異業種交流会「創研」代表幹事	佐藤武幸	工業
特別養護老人ホーム長寿園園長	三浦孝子	福祉
尾花沢市民生委員・児童委員（主任児童委員）	高橋裕子	//
スキップコスモス	花邑真実子	子育て
	鈴木由美子	//
尾花沢市観光物産協会観光ガイド	戸津奈穂子	観光
地域青年エネルギー活動推進実行委員会	本間 荘悟	まちづくり
はたちの集い実行委員会実行委員長	三井 勉	//

市民憲章

私たちは、雪深いなかにも、明るく豊かで住みよい尾花沢をめざして、次のことを誓います。

- 一 自然に恵まれたふるさとを愛し、伝統や文化を大切にします。
- 一 つねに学びあい、豊かな人格形成につとめます。
- 一 自らの仕事に励み、産業の盛んなまちをつくりまします。
- 一 たがいに助けあい、みんな健康で幸せにくらせるまちをつくりまします。
- 一 青少年には希望、壮年には活力、お年寄りには安らぎのあるまちをつくりまします。

市章



尾花沢の「オ」の字を象徴化したもので、新進尾花沢市の和と飛躍的な発展を象徴したものである。昭和35年6月、尾花沢市章となる。

ふるさと宣言

私たちは、尾花沢市の伝統と文化を守り、自然や風土を愛し、産業を盛んにし、豊かなふるさとを築いていきます。
ここに生まれて良かった、住んで良かったと思えるまちづくりに心をひとつにして取り組みます。
純白の雪、真赤なスイカ、躍動する花笠踊りのふるさと尾花沢を、夢と希望をもって未来へつないでいくことを宣言します。

シンボルキャラクター



市の花



【ツツジ】
庭園や盆栽などで多くの人々に親しまれているツツジは、風雪にも強い植物で、純粋で忍耐強い尾花沢市民の人柄を象徴している。

市の木



【ケヤキ】
ニレ科の落葉高木。本州、九州、東アジアの山野に広く分布するもので、尾花沢市では山地帯の沢ざいに自生する。材はかたく木目が美しい。

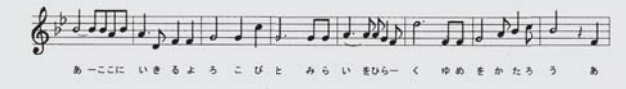
市民歌

「夢を語ろう」 山口 齊 作詞 加藤 恵子 作曲

山は緑に 水清く
稲穂は黄金の 波をうつ
いま 懐かしい 銀山と
心 潤す 徳良湖



雪と すいかと 花笠と
芭蕉ゆかりの 尾花沢
いま 新しい 出発の
わがふるさと 栄えゆく
あゝ ここに生きる 喜びと
未来を拓く 夢を語ろう



あゝ あゝ 尾花沢
あゝ あゝ 尾花沢



第6次尾花沢市総合振興計画

基本構想／前期基本計画

平成23年3月

発行 尾花沢市
〒999-4292 山形県尾花沢市若葉町一丁目1番3号
電話 (0237) 22-1111

尾花沢市ホームページ
URL <http://www.city.obanazawa.yamagata.jp>
E-mail info@city.obanazawa.yamagata.jp
